

=====

◆□◆◆□ 群馬産業保健推進センター メルマガ第9号 ◆□◆◆□
□◆□◆□ ホームページ <http://www.gummasanpo.jp/> □◆□◆□

=====

このメルマガジンは群馬産業保健推進センターのホームページに掲載された
新着情報や産業保健の説明等を配信しますので、是非お読み下さい。

--<群馬産業保健推進センターからのお知らせ>-----

1 平成20年度全国労働衛生週間について

http://www.jisha.or.jp/event_campaign/campaign/eisei/index_fl.html

本年で59回目を迎える全国労働衛生週間は、例年通り9月1日から30日までを準備月間、
10月1日から7日までを本週間として実施されます。今年のスローガンは
「あなたが主役 明るい職場と健康づくり」として展開されます。

期間中には、県下の各労働基準監督署では趣旨説明会、安全衛生大会が開催される予定
であるほか、10月1日（水）午後1時30分から前橋テルサにおいて「快適職場&健康づくり
群馬推進大会」が開催されます。同大会の第二部では明和学園短期大学客員教授の志田
俊子先生が「食は いのちの基本」一からだをつくり 心をつなぐをテーマに講演が予定され
ています。

全国労働衛生週趣旨説明会についてのお問い合わせは各労働基準監督署へ、また、
平成20年度全国労働衛生週間実施要綱等の詳細は、下記の中央労働災害防止協会HP
からご覧頂けます。

<http://www.jisha.or.jp/>

2 酸素欠乏症等の労働災害発生状況について

厚生労働省より「酸素欠乏症等の労働災害発生状況」について、発表がありました。最近5
年間では、年平均10名程度が被災し、その4割程度が死亡しております。詳細をお知りになり
たい方は、下記の厚生労働省HPでご覧頂けます。

<http://www.mhlw.go.jp/topics/2008/07/tp0715-1.html>

3 自殺予防週間の実施について

9月10日の世界自殺予防デーに因んで、毎年、9月10日からの一週間を自殺予防週間とし
て設定し、国、地方公共団体が連携して、幅広い国民の参加による啓発活動を推進し、自殺や
精神疾患についての正しい知識を普及啓発し、これらに対する偏見をなくしていくとともに、命の
大切さや自殺の危険を示すサイン、また危険に気づいたときの対応方法及び自殺者の親族等
に対する支援の必要性等について国民の理解の促進を図るものです。「自殺予防週間」実施
要綱等は、内閣府HPでご覧頂けます。

4 メンタルヘルス対策支援申込みの募集について

<http://www.gummasanpo.jp/topics/menntatuuhelth.doc>

先月号にてご紹介した「メンタルヘルス不調者等の労働者に対する相談機関による相談促進
事業」（厚生労働省委託事業）に基づき、当センター（メンタルヘルス対策支援センター）で委嘱

する「相談機関利用促進員」（１０月から委嘱予定）による支援を希望する事業場を募集しております。メンタルヘルス対策への取り組み方が分からない、メンタルヘルス不調者がいるがどこに相談したらよいかなど、メンタルヘルス対策を推進する上での困ったことなどについて、相談機関利用促進員が事業所に伺いアドバイスを致します。勿論、知り得た情報等についての守秘義務、個人情報の保護は厳守されますのでご安心下さい。

5 群馬職域メンタルヘルス交流会開催のご案内（再掲）

本年度、第５回目を迎えた標記交流会が下記により開催されます。第一部では東京大学教授の川上憲人氏による講演、第二部シンポジウムは職域の産業保健スタッフで持ち回りにより担当してきましたが、本年度は「精神科医、産業医」の方が受け持つことになっております。奮ってご参加下さい。

記

（１） 日 時 平成２０年９月２５日（木）午後２時から５時まで

（２） 場 所 群馬メディカルセンター 大ホール

（３） 第一部 講演「演題：職場のメンタルヘルスとその進め方（仮題）」

講 師 川上憲人氏

東京大学大学院医学研究科健康科学・看護学専攻

精神保健学分野教授（医師）

（４） 第二部 シンポジウム

「職場のメンタルヘルスにおける精神科医、産業医の役割（仮題）」

座長 竹内一夫（埼玉大学教育学部教授）

シンポジスト 狩野正之（高崎健康福祉大学健康福祉学部保健福祉学科教授）

松澤一夫（松澤医院院長）

藤田晴康（赤城病院医師）

太田圭子（㈱I H I エアロスペース社富岡事業所

健康管理室産業医）

助言者 川上憲人（東京大学大学院医学研究科健康科学・看護学専攻精神保健学分野教授）

6 当センターで実施の産業保健セミナー（９月～１０月初旬予定）のご案内

（１） 「海外赴任者健康管理セミナー」

開催日時 ９月１１日（木）１４：００～１６：００

開催場所 伊勢崎市文化会館

伊勢崎市昭和町３，９１８（tel 0270-23-6070）

講 師 安川隆子 氏（元WHO職員）

内 容 「相手を知り己を知れば百戦危ういべからず」等セミナーでは己（健康、心）と海外（環境、病気、国民性）についての認識を深め、渡航前準備を手助けします

(2) 第282回セミナー「健診データのまとめ方と活用」

開催日時 9月17日(水) 14:00～16:00

開催場所 群馬産業保健推進センター

前橋市千代田町1-7-4 (tel 027-233-0026)

講師 藤田 晴康 相談員

内容 一般的な表計算ソフトを用いて検診データを効率的にまとめ、活用するコツを解説する。入力やデータ加工、指標やグラフの出力に関する注意と工夫を例示する。

(3) 「職場における救急体制(心肺蘇生法(AED、人工呼吸等))」

開催日時 10月15日(水) 13:30～16:30

開催場所 大泉町文化むら

邑楽郡大泉町朝日5-24-1 (tel 0276-63-7733)

講師 太田市消防本部スタッフ

内容 心肺停止などの緊急時の対応について、心肺蘇生法などの実習を行う

7 他機関で実施の研修会等のご案内

(1) 「生きること」について考える講演会

<http://www.gummasanpo.jp/topics/ikirukoto.doc>

開催日時 9月6日(土) 13:30～15:00

開催場所 群馬会館 小ホール

前橋市大手町2丁目1番1号 (tel 027-226-4850)

講師 第18回山本周五郎賞受賞作家 荻原 浩 氏

・・・僕が「明日の記憶」を書いたわけ・・・

「明日の記憶」は、映画化され、主人公を渡辺謙さん、その妻を樋口可南子さんが演じ、多くの人に「愛することとは」、「生きることとは」という人間の根源的な問いを投げかけた作品となりました。

その原作者が、何故そうしたストーリーを書こうと思ったのか、明日の記憶が、映画化されるまでの裏話を織り交ぜながら、「生きること」について語ります。

対象者 県民の皆様

参加費 無料

定員 先着400名(申込締切9月2日(火))

主催 群馬メンタルヘルス・ネットワーク、群馬県精神保健福祉協会、群馬大学、群馬県自殺対策連絡協議会、群馬県

問合せ先 群馬県こころの健康センター 相談援助係

前橋市野中町368

(tel 027-263-1166 fax 027-261-9912)

(2) STOP THE 自殺！なくそう！誤解や偏見（無料公開講座）

開催日時 9月9日（火）14：00～16：00（講義）
16：10～16：40（体験カウンセリング）

開催場所 前橋テルサ 9階つつじの間
前橋市千代田町2丁目5番1号（tel 027-231-3211）

研修内容 自殺の現状やうつ病について、セルフケアについて

講 師 高崎健康福祉大学健康福祉学科教授 狩野 正之 先生

対 象 者 どなたでもご参加頂けます

参 加 費 無料

定 員 50名

問合せ先 （社）日本産業カウンセラー協会 上信越支部 群馬事務所
高崎市問屋町3-10-3 問屋町センター第2ビル3階
（tel&fax 027-365-2575）

8 自発的健康診断受診支援助成金制度のご案内

社会環境の変化に伴い、深夜労働に従事する方が増えています。深夜労働は、人間本来の生活リズムとは異なる労働形態であるため、昼間の労働に比べ、身体に負担がかかっています。

このため、労働安全衛生法では深夜業に従事する労働者に対し6ヶ月以内ごとに1回定期的に健康診断を行うことになっております。しかしながら、深夜業に従事し、一定の要件を満たした方が、自己の健康に不安を感じ、次回の定期健康診断を待てないで、自ら健康診断（ドックを含む）を受診した場合に、要した費用（消費税を含む）の3/4に相当する額が助成されます。

（但し、7,500円を限度とする）

一線で働く労働者の方々に、周知を図って頂きますようお願い致します。

=====
<<群馬産業保健推進センターメール配信サービス解除、変更はこちらから>>

<http://www.gummasanpo.jp/melmag/index.html>

<<このメールマガジンへのご意見・ご要望はこちらから>>

sanpo10@gummasanpo.jp
=====

《発行元》群馬産業保健推進センター

電話：027-233-0026 FAX：027-233-9966